

平成28年度 第2回役員会を開催

12月8日、宮浜温泉の旅館かんざきにて、8名の役員出席(委任状提出2名)で、専務理事の補欠選任及び今年度活動状況について審議。専務理事には新たに廿日市商工会議所の山下専務理事を選任、残る今年度事業も承認されました。役員以外にも、郷心会連合会の前田事務局長、地元のマツダ販売会社が参加した懇親会では、各地域の話題などを題材に積極的な情報交換が行われました。



企業見学会を開催



2月21日、初めて開催した「廿日市郷心会 企業見学会」は参加12会員17名の貸切バスツアーで、広島県中央エリアに向い、全国的に広く人気を博す「八天堂」の三原りんくう工場と、酒どころ西条の「賀茂鶴」と「酒蔵通り」を訪問しました。八天堂では、パン作り体験のほか、経営危機を乗り越え全社的な考え方や働き方改革への取組についての講話に、製造に携わる社員をはじめとする社内の雰囲気にも納得。西条では、賀茂鶴にて伝統の酒造りや継承発展への取組説明と利き酒に続いて、酒蔵通りの散策でガイドの案内を受け、地元への認識を更に深めることができた。など、参加者の感想があり、充実した見学会となりました。

サンフレッチェ広島 応援観戦会、チャリティゴルフ大会を開催

2月25日、Jアルビレックス新潟を迎えたリーグ開幕戦に、14会員32名の参加で応援実施。クラブ創設25周年でシーズン優勝を目指すサンフレッチェ広島は、好天候の中、先制にも手を緩めず好ゲームを展開。結果は一对一の引き分けとなったが、最後まで息をつかせぬ選手とチームの戦いは参加者にも熱い地元愛を抱かせ続ける一戦でした。



3月20日、第一回大会は14会員20名が参加。好天のなかで交流が深まるとともに、和気あいあいの表彰式で終了しました。なお、募金16,000円は廿日市社会福祉協議会に寄付させて戴きました。(6月1日発行の社協だよりに掲載予定)

マツダトピックス (2017年3月)

1. 国内販売状況 (軽自動車を除く) (マツダ実績...マツダ調べ/速報 他銘柄実績...自販連発表値) トヨタにレクサスを含む

	2月	前年	前年比	シェア	4-2月	前年4-2月	前年比	シェア	1-2月	前年1-2月	前年比	シェア
マツダ	15,860	17,884	88.7%	5.1%	135,759	170,197	79.8%	4.7%	29,717	34,985	84.9%	5.2%
トヨタ	148,927	116,142	128.2%	47.7%	1,403,839	1,276,828	109.9%	48.5%	264,987	227,415	116.5%	46.5%
日産	46,589	41,292	112.8%	14.9%	349,412	324,337	107.7%	12.1%	88,613	73,622	120.4%	15.5%
本田	34,276	36,436	94.1%	11.0%	335,696	333,514	100.7%	11.6%	64,618	62,991	102.6%	11.3%
三菱	2,963	5,074	58.4%	0.9%	25,684	36,748	69.9%	0.9%	5,641	9,065	62.2%	1.0%
スバル	13,218	11,651	113.4%	4.2%	110,706	101,108	109.5%	3.8%	25,940	22,740	114.1%	4.5%
全銘柄	312,035	275,165	113.4%	-	2,897,279	2,719,593	106.5%	-	570,120	512,826	111.2%	-

2. 広島県販売状況 (軽自動車を除く) (マツダ調べ) 3. マツダ主要車種国内販売状況 (マツダ調べ)

	2月	前年	前年比
マツダ	1,038	1,086	95.6%

	全国計			広島県		
	2月	前年	前年比	2月	前年	前年比
デミオ	4,922	5,694	86.4%	325	348	93.4%
アクセラ	2,290	2,127	107.7%	130	121	107.4%
アテンザ	415	1,143	36.3%	31	78	39.7%
CX-5	4,085	3,314	123.3%	285	173	164.7%
CX-3	1,447	3,243	44.6%	76	229	33.2%
ロードスター	869	579	150.1%	29	30	96.7%
プレマシー	392	602	65.1%	48	29	165.5%

4. マツダトピックス

新型「マツダ フレア」を3月2日より発売

新型「フレア」は、軽ワゴンならではの広い室内空間、機能性を重視したパッケージング、低燃費を実現したモデルです。今回の全面改良では、幅広いお客様に受け入れられる定番スタイルの「HYBRID XG」と、スポーティさと上質さを備えたスタイリッシュな「HYBRID XS」の2機種を用意し、デザイン性と機能性との両立を目指して大幅刷新しました。

また、単眼カメラと赤外線レーザーレーダーを組み合わせて前方のクルマや歩行者を検知し、衝突回避をサポートまたは被害を軽減する「デュアルセンサーブレーキサポート」、自動でヘッドランプのハイ/ローを切り替える「ハイビームアシスト機能」、運転席前方のダッシュボードに車速やデュアルセンサーブレーキサポートの作動状況を表示する「ヘッドアップディスプレイ」の3つの技術をマツダの軽自動車として初採用するなど、安全装備を充実させました。

さらに、減速時のエネルギーを利用して発電・充電し、その電力を活用してモーターによるクリープ走行や加速時のエンジンアシストを可能にする「マイルドハイブリッド」や新プラットフォームの採用、サスペンションやボディの軽量化などにより、軽ワゴン最高の燃費33.4km/L (2WD) を達成、全車エコカー減税の免税対象となっています。室内長やラゲッジルーム開口幅を拡大、アンブレラホルダーを装備するなど、軽ワゴンとしての機能性も強化しました。



マツダ フレア「HYBRID XG」



マツダ フレア「HYBRID XS」

<http://www2.mazda.com/ja/publicity/release/2017/201702/170223a.html>

2017年ドライビングレッスンと参加型モータースポーツイベントの協賛計画を発表

マツダは、ドライビングレッスンや参加型モータースポーツイベントへの協賛を通じ、より多くのお客様に、「走る喜び」を体感していただくとともに、運転技量の向上、交通安全への貢献を目指してきました。2017年も「モータースポーツを通じて人生の輝きを提供したい」というビジョンのもと、ドライビングレッスンや参加型モータースポーツイベントへ協賛します。

<ドライビングレッスン> Be a driver. マツダ・ドライビング・アカデミー

専門のインストラクターやマツダの開発スタッフなどの講師陣による座学と運転実技を通じて、マツダのクルマづくりに一貫する『人馬一体』の走りの理論と楽しさを学び、それを実践できる運転技術の習得を目指すドライビングレッスンです。運転を基礎から学びたいとお考えの方を対象とした「ベーシック・クラス」と、スポーツドライビング経験のある方やベーシック・クラス受講済みの方を対象とした「アドバンス・クラス」の2クラスを設定しています。いずれのクラスも、サーキットなどの専用設備を使って、パイロンスラロームや定常円旋回、高速域からのブレーキングなどの基礎的な運転練習や、安全にサーキットの体験走行ができます。

開催日程や参加型モータースポーツイベントについては、下記にて詳細をご紹介します。

<http://www2.mazda.com/ja/publicity/release/2017/201703/170303a.html>

5. 2017年1月の生産・販売状況 (速報)

1ヶ月遅れで生産・販売実績が発表されるため1月実績を記載

	2017年1月	
	台数	前年比
国内生産	67,382	-13.9
国内販売	16,909	-19.3
輸出	50,407	-19.2
海外生産	50,838	-3.6

国内販売 (主要車種実績)

「デミオ」: 4,224台 (前年同月比 - 39.2%)

「アクセラ」: 3,224台 (同 + 62.4%)

「CX-5」: 1,712台 (同 - 24.1%)